

和洋の響きで踊る。  
能登を思う。

# HIKARI

長唄「月」  
「あかるい家」  
「越後獅子協奏曲」

立方 中村壺太郎  
中村翫政

美術 中島伽耶子

長唄 杵屋巳三郎、三味線 今藤長龍郎 ほか  
笛 福原寛瑞 太鼓 見目萌

カウンターテナー 彌勒忠史  
チェンバロ 曾根麻矢子

監修: 徳丸吉彦

『あかるい家』中島伽耶子

踊り 中村壺太郎 (歌舞伎俳優)  
美術 中島伽耶子 (美術作家)



2025 10.12 SUN 14:00開演 (13:15開場)

石川県立音楽堂 邦楽ホール

JR金沢駅兼六園口  
(東口) 徒歩1分

全席指定 一般 5,000円 / U25 (25歳以下) 2,500円 U25券ご購入の方は入場時に年齢の分かる身分証をご提示ください。 ※OEK定期会員、邦友会会員1,000円 割引

TICKET

石川県立音楽堂チケットボックス TEL.076-232-8632

窓口9:00~19:00 / 電話10:00~18:00  
(休館日: 7/14, 8/12, 9/8, 10/6)

託児ルーム (有料) あります

◎チケットぴあ (535-081) ◎ローチケ (Lコード52214) ◎セブンチケット (111-474)

〈一般発売日: 2025年7月12日 (土) 10時〉

ご利用の方は10/2 (木) 17時までに  
音楽堂事務局 (TEL076-232-8111) に  
お申込みください。

主催: (公財) 石川県音楽文化振興事業団、(公財) 日本製鉄文化財団 / 共催: (一財) 石川県芸術文化協会 / 後援: 北國新聞社 / 協力: 日本製鉄株式会社 新潟支店 北陸営業所

# HIKARI



「光-HIKARI-」という言葉を目にした時、  
みなさんはどんなことを想像されますか？  
私の脳内では「人と人、人と地域を繋ぐ“光”」  
という言葉が連想され、それが自分の中での  
公演テーマへと言語化されていきました。  
人が集まるところにある“光”、  
演じ手と作り手が融合した時に生み出される“光”、  
そんなことを考え、奥能登での体感を基に、  
美しく心に残る舞台を創り出したいと思います。

—— 中村壺太郎

## PROGRAM

**舞踊 長唄「月」** 作曲：三世 今藤長十郎

立方：中村壺太郎

唄：杵屋巳三郎、杵屋三七、杵屋巳三寿郎

三味線：今藤長龍郎、松永忠一郎、杵屋五三吉雄

笛：福原寛瑞

**トーク 中島伽耶子×中村壺太郎**

**舞踊「あかるい家」**

立方：中村壺太郎

美術：中島伽耶子

朗読：彌勒忠史、笛：福原寛瑞、太鼓：見目萌

**クーブラン「恋のうぐいす」** ※チェンバロ独奏

ヘンデル「オンブラ・マイ・フ」

ダウランド「流れよ、わが涙」「晴れても曇っても」

武満徹「小さな空」

カウンターテナー：彌勒忠史

チェンバロ：曾根麻矢子

**舞踊「越後獅子協奏曲」** 音楽構成：今藤長龍郎

立方：中村壺太郎、中村翫政

歌：彌勒忠史 チェンバロ：曾根麻矢子

唄：杵屋巳三郎、三味線：今藤長龍郎

笛：福原寛瑞 太鼓：見目萌

中村壺太郎  
(歌舞伎俳優)



1990年生まれ。父は中村鴈治郎、祖父は同じく歌舞伎俳優・人間国宝の四世坂田藤十郎。母は日本舞踊吾妻流宗家の吾妻徳穂。95年1月初代中村壺太郎を名のり初舞台。2014年 日本舞踊の吾妻流七代目家元吾妻徳陽を襲名20年新感覚の歌舞伎とアートのコラボからなる配信公演「ART歌舞伎」を上演。海外公演にも勢力的に参加をしている。映画「国宝」では吾妻徳陽の名で所作指導を勤める。25年11月には「ART歌舞伎」初の劇場公演を行う予定。女方を中心に歌舞伎の舞台に精進しつつラジオやテレビなどにも活動の場を広げている。

中島伽耶子  
(美術作家)



1990年京都生まれ。2020年に東京藝術大学美術研究科博士後期課程修了。物事を隔てる境界や壁を使い、空間と作品とが一体となる大規模なインスタレーション作品を展開している。主な展覧会に、「あ、共感とかじゃなくて。」東京都現代美術館(2023)、「TOKYO BIENNALE 2023」(2023)、第15回Shiseido art egg 中島伽耶子展「Hedgehogs」(2021)、「奥能登国際芸術祭2020+」(2021)、「瀬戸内国際芸術祭2016」(2016)など。

曾根麻矢子



彌勒忠史



中村翫政



今藤長龍郎



杵屋巳三郎



福原寛瑞



見目萌



日本製鉄 紀尾井ホール

日本製鉄紀尾井ホール(東京都千代田区紀尾井町)は、旧新日本製鉄(現日本製鉄)株式会社が創立20周年を記念し、音楽文化支援の拠点として建設、1995年に開館しました。1階・2階にクラシック専用・800席のホールと、5階に邦楽専用・250席の小ホールの二つのホールを擁します。ホールを運営する公益財団法人日本製鉄文化財団では、年間を通じてオーケストラのコンサートや、ピアノ、ヴァイオリン、声楽などのリサイタル、人形浄瑠璃文楽や長唄などの質の高い公演を企画開催しています。

\*2025年4月に開館30周年を迎え、「紀尾井ホール」から「日本製鉄紀尾井ホール」に改称しました。

